



会長 築瀬 敦

= 築瀬 敦 会長スローガン =

“ロータリーのマジックを信じ 地域にマジックを掛けよう”

■例会日:毎週水曜日 12:30～ ■例会場:ホテルシーズン日南

■事務局:日南市岩崎3丁目4番地1-2号 Itten堀川ビル2F 創客創人センター内

TEL:0987-22-3363 FAX:0987-22-3515

第3422例会	No.41	2025.5.28	
点鐘・ロータリーソング	12時30分 「日も風も星も」		
四つのテスト	野崎正彦君		
例会行事	結婚・誕生者卓話		

新入会員入会式



皆さま、こんにちは。このたびご縁をいただきまして、日南ロータリークラブに入会させていただきました、稲垣拓朗と申します。先日、竹井崇利さんと富満支店長からお声がけをいただき、入会を決意いたしました。そして先週、私の高校時代の同級生でもある松田圭司君が入会し、立派な挨拶をされていたのを拝見しまして、私も今日は少しお時間を頂戴して、ご挨拶させていただければと思っております。こういった挨拶は本当に苦手ですが、どうぞお付き合いのほど、よろしくお願いします。私は昭和58年に北九州市で生まれました。再来月で42歳になります。小学校に上がる直前に、父の仕事の関係で日南市へ移住してまいりました。当時は方言がま

ったくわからず、正直なところ、かなり苦労しました。ですが、徐々に地域に溶け込み、今ではすっかり日南人です。その後、東郷小・中学校を経て日南高校へ進学し、卒業後は福岡の大学に進学しました。大学卒業後は福岡で産業廃棄物処理や解体工事を行う会社に入社し、営業職として8年間勤めました。その会社の社長はとても信頼できる方で、今でも経営のことでよく相談に乗っていただいております。一方で、当時の直属の上司は、今思えばかなり激しいパワハラ上司でして…。当時は「これが普通か」と思っていたのですが、今なら確実にアウトですね。そんな環境で鍛えられたことも、今となっては貴重な経験だったのかもしれません。10年ほど前に地元・日南に戻り、6年前から「落合衛生社」の代表を務めさせていただいております。今こうして、地元で仕事ができていることに、日々感謝を感じながら過ごしています。私の会社「落合衛生社」では、浄化槽の維持管理・清掃や、家庭・事業系のごみの定期回収、排水管の高圧洗浄、詰まり対応など、あまり目立たないけれど地域の暮らしに欠かせない仕事を担っています。最近では空き家の片付けや粗大ごみの回収といったサービスにも力を入れており、「どこに頼めばいいかわからない」とお困りの方からご相談をいただくことが増えてきました。また、日南市からの委託業務として、し尿処理場の運転管理や下水処理場の維持管理も行っています。ただ、こういった水処理の分野は技術者の高齢化が進んでおり、若手社員への技術継承が大きな課題となっています。まだまだ経営者としては半人前ですが、少しでも地域の衛生環境に貢献できるよう、日々試行錯誤しながら取り組んでおります。地域活動としては、日南商工会議所青年部でも活動させていただいており、今年度は「直前会長」という立場に関わらせていただいております。先週、現会長である松田圭司君が活動内容について詳しくお話されていたので、重複は避けませんが、今年1年は彼をしっかりと支え、青年部の活動がより活発になるよう尽力していく所存です。若手メンバーも増えており、非常に良い雰囲気を感じています。そんな中で、今回このロータリーという歴史ある会に入会させていただいたことを、大変光栄に思っております。正直なところ、まだロータリーの理念や活動について、

しっかりと理解できていない部分も多いのですが、これからじっくり学ばせていただき、少しでも皆さまのお力になれるよう努めてまいりたいと思っています。最後になりますが、今日このように皆さまとご縁をいただけたことに、心より感謝申し上げます。どうか今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

稲垣拓朗君（1983年7月16日生 41歳）

勤務先：(有)落合衛生社 表取締役

趣味：ゴルフ

会長時間



今日は、先日の会長時間で、ノーマライゼーションについてお話ししましたが、その中で少し出てきました特別支援教育についてお話をさせていただこうと思います。私の家内が、小学校教諭として特別支援学級を長く担当しています。20年くらいになるんじゃないかなと思います。現在も担任をしていますが、今までたくさんの学校での話を聞きました。そして、特別支援というものをいかに知らなかったかと思いました。そこで今回、家内をお願いして特別支援について教えてもらいながらこの原稿を作成しましたので皆さんに少しでも理解していただければと思います。

特別支援学級という言葉をお聞きになったことがあると思います。私たちが子どもの頃は、特殊学級とよばれていました。特別支援学級には2種類あって、一つは知的障害特別支援学級、もう一つは、発達障害を抱えた子ども達が在籍する自閉症・情緒障害特別支援学級の二つです。この、自閉症・情緒障害特別支援学級、略して自・情学級と呼んだりもしますが、その自・情学級に在籍する、発達障害を抱えた子ども達とは、どのような子ども達かといえますと、主な実態としては、じっとするのが苦手で常に動いていたり話していたりする。身体の動きがぎこちない。身の回りの整理整頓が苦手。物が散乱しやすい。手先が不器用。逆に、大変器用で緻密な作業を好む。同じ作業を繰り返す続けることが得意、または苦手。空想にふけりがち。一つのことにこだわりがあり、そのことが気になると他のことがまったく手につかなくなる、などがあります。ここでは、具体的な障害名はのべませんが、同じ障害名でも、一人ひとり突出している状態は様々です。

どのようにしてこの子は発達障害だといわれるのでしょうか。子ども達は自分自身で発達障害だと気付くことはできません。主に保護者や、保育園・幼稚園の先生、学校の先生など、子ども達の身近にいる大人の気付きによります。早く気付くことができ、小さいうちから適切な指導・支援を受けることにより、障害を抱えながらも社会に適応していく力を身につけることができます。そうした力を身につけることはスムーズな就労につながり、自分でお金を稼いで社会生活を営むことができるようになります。実際に私の妻の教え子は、小学校から特別支援学級で学び、高校卒業後に地元のスーパーに就職して、親元から通いながら立派に仕事をしています。スーパーに買い物に行った際に、仕事中の教え子に会うことがあるようですが、黙々と仕事をし、話しかけるとしっかりとした受け答えをしてくれると言っていました。彼はもらったお給料で、自分の好きな物を買ったり、好きな所に遊びに行ったりしているようです。仕事をして自分で稼いだお金で自分の好きなことをする。立派な社会人となった教え子に、妻は感慨無量だと言っていました。一方で、気付かれないまま成長していく子ども達も多くいます。その理由としては、発達障害は、外見で判断することが難しいために見過ごされてしまったり、また、世間体などから、保護者の方が支援学級在籍を承諾されなかったりするといった場合もあるようです。大人になって進学や就職をしてから、周囲に受け入れられなかったり仕事をこなしていけなかったりして不適応を起こし、病院を受診。そこで初めて自分が発達障害だと知ることになります。では、発達障害を抱えた方、発達障害かも知れないと思われる方と、職場で接することになった時、どのような対応をしていくとよいのでしょうか。先に述べたように、同じ障害でも状態は様々ですから、障害名に左右されず、本人の個性に寄り添っていく。それが重要なのですが、多くの方に共通して見られる傾向というものもあります。会話が一方的で自分のことばかり話しがちであったり、独特の言葉の使い方や言い回しをしたり、言われたことやすべきことを忘れてしまったりするところなどです。これらの傾向について、支援や対応の例をご紹介させていただきたいと思います。まず、一方的な話ばかりで会話にならない場合は、相槌などを打ちながら傾聴するといいいようです。根気強く質問したりこちらの話を入れたりするうちに、少しずつ会話のキャッチボールが出来るようになります。理解しづらい言葉や言い回しは、「○○のこと?」「△△したんだね?」などと、正しい、または分かりやすい表現に変えてあげると、本人の語彙が広がり、会話しやすくなると思います。すべきこと

を忘れがちな場合は、文字や絵で明示しておくとういでしょう。その他、できたことを称賛し、それを繰り返すことでルーティン化を図ります。これは、小中学生の場合は、シールを使って出来たことを視覚化してあげるのですが、大人の方には少し不向きかも知れませんが、ご本人の嗜好や個性に合わせて工夫していくとういと思います。これらの他、活動（仕事）のスケジュールを提示して見通しが持てるようにする。絵や写真に文を添えて視覚的に情報を提示する、衝立や棚などを活用して職場環境を整えるなどの支援も、よく行われていることです。スケジュールを提示することについては、まれに、スケジュールに縛られるようで嫌だとうい人もいますが、安心感を持つ人の方が多いようです。ただ、ここまで述べた発達障害の方への支援・対応は、支援する側にとっては非常に根気のいる作業になるそうです。同じ対応をしても、ご本人の体調や天気、睡眠の状況などによって、効果が見えたり見えなかったりするので、支援をする人の方が疲弊してしまうこともあり、そうになってしまうと本末転倒になってしまうので、無理はされないようにしてください。気持ちを切り替えたり、ご本人と少し距離を置いたりして、上手に付き合っていただければとういのが家内からのアドバイスでした。

最後に、家内から。学校では、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」というものを作成しております。簡単に言いますと、障害のある児童生徒さん一人ひとりに適切な教育的支援を行うための計画書のことです。小中学校は、特別支援学級に在籍している児童生徒さんや通級教室を利用している児童生徒さんについて、これらを作成することを義務づけられていて、これらは、毎年見直しされ、学校と保護者、場合によっては関係機関も含めて作成されます。この「個別の指導計画」の中に、将来についての『本人の願い』を記載する欄があります。障害の特性から時系列を捉えることが難しいため、将来を考えることが困難で「わからない」「ない」と答える子どももいますが、「消防士になりたい」「ユーチューバーになりたい」「動物のお医者さん」「サッカー選手になりたい」など、子どもらしい夢のあるものも見られます。夢が実現することは無理なことが多いのですが、保護者も教員も、子ども達が自分の夢に向けて頑張っていくことができるよう、できる支援を根気強く行っているところです。通常学級の1年生は、1クラス35人までです。2～6年生になると40人までです。日南市では1～2年生は30人まで、3～6年生は35人までだそうです。ところが、特別支援のクラスは8名までだそうです。いかに一人一人の指導が大変かを表していると思います。

幹事報告

1. 地区事務所より、「令和7年大船渡山林火災被害支援金」の集計結果が届いております。義捐金の総額は、1,209,681円とのことであります。

例会行事

= 結婚・誕生者 卓話 =

○親睦委員会

- <結婚> 日高章太郎君（1985年6月9日）
- <誕生> 清水満雄君（1943年6月29日） 渡邊眞一郎君（1948年6月9日）
峰松俊夫君（1962年6月24日） 齋藤奈々君（1970年6月6日）
斉藤篤史君（1978年6月1日）



日高章太郎君（結婚）

お祝いありがとうございました。

6月の誕生者の清水満雄君、渡邊眞一郎君に続いて私が日南商工会議所の会頭ですが、40歳でロータリークラブに入りましたので、とうに出席免除ができるのですが、100%はあきらめましたけども、少しでも現役でいきたいなと思って頑張っております。いろいろなところで挨拶する機会が多いのですが、何も気を使わなくてしゃべられるのがロータリー

クラブです。江藤大臣はちょっと間違っていたんじゃないかと思うんですけど、話して良いことと悪いことと場所をわきまえればそんなに皆さんに迷惑をかけることはないと思っています。結構記念日ですが、今年で多分 40 年ぐらいと思うのですが、数年前コロナの前から、離婚をしない条件が年 1 回子供、孫を連れて海外旅行に行くという事にしていました。その為に一生懸命貯金をしています。今年も 7 月に行ってまいります。60 年夫婦関係を維持するのは本当に大変なので、今は嫁さんには一切反抗しておりません。先日生命保険が満期になりました。昔の法人向けの定期保険は保険料が全額経費として認められていましたが現在は認められていません。ですから満期になった金額でまた保険をかけるわけにはいきませんので、役員報酬を半分以上に下げれば退職金として認められるので会社を退職しました。退職金は全額妻の口座に送りました。その時、宮銀の方から、何のお金ですかと聞かれましたので、感謝料の一部で残りは後 30 年かかりますと答えましたが、そういう気持ちで本当に頑張っています。お医者さんから聞いた話ですが男性は元々生まれる直前まで女性として生まれるところが間違っただけの男になったってことだそうなんです。それを知った時から、女性にたてついても所詮男はだめなんだというあきらめの境地になって十何年経って今、運よく夫婦間が何とか続いているのではないかと思います。もともと青年会議所時代は、明るい JC 暗い家庭といわれるぐらい毎日出方で、今日もいないのか、今日もいないのかと言われ続けていました。ところが 40 過ぎて昼活動のロータリークラブに入ると、忘れもしませんが、今日もいるのですか今日もいるのですかと言われ始めてまして、晩御飯の準備をしなくて自分が楽するためだけのことなんですけど、そういうことを考えると青年会議所で鍛えられてますので、^[SEP]今、結構いろいろな役で毎日出てますが、1 ヶ月のスケジュールを言えばそれで済むので、青年会議所のおかげだなと今でも思っているところでございます。青年会議所で鍛えられ、品格のあるロータリーに入会させて頂いてまだ少しは僕の人格に役立ってるのかなと思っています。最後に、先ほど江藤大臣の失言の話をしたんですが、私も失礼なことを言ったことがございます。それは、数年前に串間の道の駅で、高速道路の建設促進会議がありました。その会議の席で、日南商工会議所副会頭として発言を求められましたので、高速道路建設に対してネガティブな発言を行いました。その後日南商工会議所に私の発言に対しての批判がありました。^[SEP]ただ、渡邊眞一郎会頭はすごい人です。草太郎、お前はまだ副だから言いたいことを言えと、ただ会頭になったらちーっと考えろと言われましたので、ちーっと考えているものですから、12 月に長峯誠参議員から褒められました。日高さん、静かになられましたねと言われたんです。ですから立場が人を作るのよ。会頭だからねって言いましたら、米良会頭の話をして、米良さんは違いますわって言うので、いやあの方は別格ですわと、普通の人が非常識だって言われる事を言われても、米良さんだからって本当に笑って言われる人です。到底私はそこまで行きませんので、清水さん、渡邊さんを目指して頑張ります。ロータリークラブも出席免除するごなく、今後とも出席義務を頭に入れながら頑張りますのでよろしくお願い致します。本日はありがとうございました。信



峰松俊夫君（誕生）

機械式時計の魅力

今年 3 月、父の七回忌を迎えました（存命であれば 98 歳になります）。父の遺品である腕時計を整備し、バンドも新調して、今では長女が身につけています。自分自身も、人生の残された時間を意識するようになった頃から、昔ながらのゼンマイで動く機械式時計に惹かれるようになりました。父の時計のように、親から子へ、さらには孫へと受け継がれていくもの。そうした「時間を超えて受け継ぐ」体験こそが、機械式時計の大きな魅力なのだと感じています。

実用性では敵わないクォーツ時計

私が初めて手にしたのは、高校生の頃のクォーツ式アナログ腕時計でした。その後、デジタル時計、ソーラー、電波ソーラー、スマートウォッチと、時代の進化に合わせて様々な時計を使ってきました。実際、現代のクォーツ式腕時計は、精度、価格、メンテナンス性のいずれをとっても機械式時計を大きく上回っています。

たとえば、一般的なクォーツ時計の振動数は 32,768Hz (= 2¹⁵回/秒) と非常に高く、数ヶ月に数秒しかずれないものもあります。日常使いの実用性だけを考えるなら、電波ソーラー時計やスマートウォッチのほうが圧倒的に合理的です。それでも私が機械式時計に惹かれる理由を、お伝えしたいと思います。

ゼンマイの力で動く芸術品

機械式腕時計は、数百もの小さな部品から成り立っています。歯車、ゼンマイ、テンプ、ガンギ車…。それらが精巧に組み合わさり、電池や電子回路を一切使わず、ゼンマイの力だけで時を刻んでいます。そのアナログな仕組みは、もはや精密機器であると同時に、芸術作品や工芸品とも言えるでしょう。裏スケルトンからムーブメントの動きを眺めていると、まるで機械の心臓が鼓動しているように感じられます。耳を近づけて音を聞き、ゼンマイを巻き、リュウズの感触を楽しむ。「自分の手で時間を動かしている」。そんな実感を得られるのも、機械式時計ならではの醍醐味です。

不便さにこそ、価値がある

私の持っている機械式時計の精度は、日差で数秒から 10 秒程度。一方、クォーツ時計は月差で数秒。精度の面では比較になりません。それでも私は、「秒針を自分で合わせる」「ゼンマイを巻く」といった少しの手間に、むしろ価値を感じています。便利さよりも、「物と向き合う時間」を大切にしたい——そんな気持ちにさせてくれるのが、機械式時計です。

手間をかけることが、愛着につながる

機械式時計は数年ごとに分解掃除（オーバーホール）が必要です。これを「面倒」と思うか、「愛着を深めるための儀式」と捉えるかで、その時計への感じ方は大きく変わるでしょう。長く使い続けることで、ケースやブレスレットには独特の傷や風合いが宿り、「世界でひとつだけの自分の時計」へと育っていきます。

物語を身にまとうということ

機械式腕時計の魅力は、単なる精度や機能性を超えたところにあります。そこには「物語性」や「所有する体験」、「工芸美」、そして「自己表現」といった、総合的な価値が宿っていると私は思います。手間もコストもかかりますが、だからこそ持つことに意味がある。それが、機械式時計の最大の魅力なのだと、私は感じています。



齋藤奈々君（誕生）

6月25日水曜日から7月5日土曜日まで、少し長い期間にはなりますが、カナダへ行きます。ロータリーの年度末と年度開始にちょうどかかってしまい、大変申し訳ないと思いますが、欠席させていただくことになります。すみません。今回は完全にプライベートの旅行です。20歳で短大を卒業し、ワーキングホリデーで1年間カナダに行っていたときの、ルームメイトやお友達とカナダで再会する約束を、今から7、8年前にしましたが、コロナの影響もあり、数年間計画できずにいました。その間に友達の一人に早期のガンが見つかりました。現在治療は終わって元気になっていますが、そのようなこともあり、本当に早く、カナダへ行こう！との話が復活しました。私を入れ、5人集まります。私はルームメイトが3人いました。ワーキングホリデーの期間は最長一年と決まっていますが、ワーキングホリデービザの申請によって開始が決まるので、開始は各自違います。私がカナダに行ったのは3月20日。福岡からソウル経由で、大韓航空に乗って行きました。その飛行機に、のちにルームメイトになる1人が乗っていたらしく、1週間だけ、私と同じホストファミリーの家に来たのです。彼女は6歳年上なのですが、とても社交的で明るく、行動力もあり、その頃は社会経験もなく、海外に飛び込んでしまった私にとっては、まさに「運命の出会い」的な、大切な出会いになりました。その後一緒に住むことになるのですが、そこから今までずっとお付き合いがあります。彼女は日本食のレストランで働いていたのですが、半年で日本に帰りました。彼女と一緒に働いていたお友達と私も仲良くなり、彼女が帰った後はそのお友達と一緒に住んでいました。一人では高額な家賃を払えないので、ルームシェアが当たり前でした。3人とも私より年上で、日本での社会生活を体験しまいま海外に行ってしまった私に、いろんな事を教えてくれました。家族ではないけど、家族と一緒にいるわけではない、頼る人もいない海外では、家族同然です。それぞれのルールはあるとは思いますが、私たちは干渉しすぎず、困った時は助け合い、一緒に過ごしたり、それぞれ旅行に行ったり・・・お互い頼りながらも自由に過ごすことが日常でした。私はカナダ人オーナーのステーキハウスで働いていて、カナダの人や中国の人や台湾の人など、いろんな人種の中で働いていたので、うちに帰ってからの日本語はとて落着いたし、ルームメイトたちはみな同じ日本食のお店で働いていたので、そのお店の人たちみんなが私の友達でした。今はそれぞれが仕事をしている中で、やっと合わせる事ができた時間です。また、7月1日は「カナダデー」といってカナダの「建国記念日」になるので、それに合わせたと

いうのもあります。イングリッシュベイという海岸沿いで花火が上がり、とても大勢の人でにぎわいます。私たちもその日を過ごし、帰国します。ワーキングホリデーで過ごした1年同様、忘れられない記念の旅行になると思いますので、どうぞ例会を欠席することをお許しください。また、帰ってきてからは、結婚記念の卓話がありますので、その時にご報告出来たらいいなと思います。

ありがとうございました。

スマイル

今回はありませんでした

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	H C 出席	M U	欠席	出席	出席率(%)
今 週	31	7(3)	28	21	2	5	23	82.14%
出席免除	落丸、清水、渡邊、							
先取M U	甲斐、村社							
欠 席	榎木田、斉藤、富満、古澤、松田							

務局〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：築瀬 敦 副会長：斉藤篤史 幹事：石灘寛樹 雑誌会報広報委員長：菊池希樹

雑誌会報広報委員会より 情報、原稿は、admin.pmy06@honda-auto.ne.jp まで送信してください